

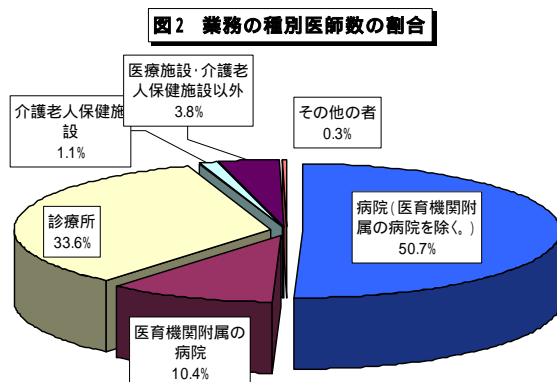
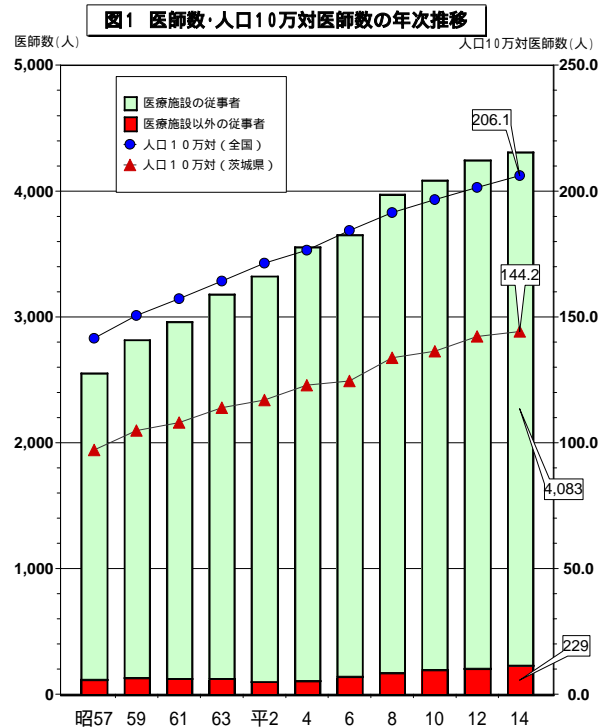
結果の概要

1 医師

本県（従業地）の届出医師数は4,312人で前回調査（平成12年）に比べ64人増加した。増加率は1.5%である。

人口10万対医師数は144.2人で前回は1.9ポイント上回ったが、全国の206.1人を61.9ポイント下回り、都道府県中第46位である。

うち医療施設に従事する医師数は4,083人。人口10万対では136.6人で全国の195.8人を下回った。徳島県258.7人、高知県258.5人、京都府257.8人などが多く、埼玉県121.8人、茨城県136.6人、千葉県141.9人などが少ない。



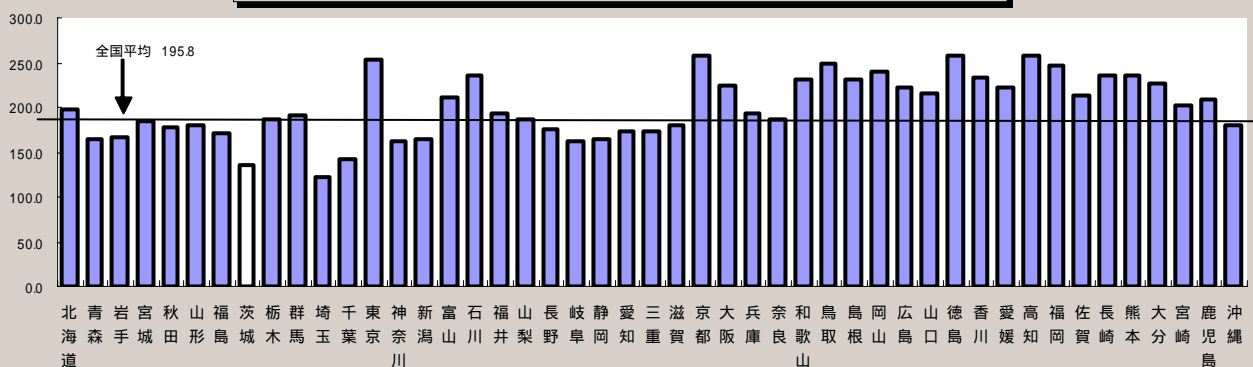
業務の種別では病院（医育機関附属の病院を除く。）の医師が最も多く、50.7%を占め、続いて診療所の医師の順である。

年齢階級別では40～44歳が635人で最も多く、次に35～39歳559人となっている。

なお、医師の平均年齢は47.6歳である。

人口10万対医師数(人)

図3 都道府県（従業地）別にみた医療施設に従事する人口10万対医師数



2 歯科医師

本県（従業地）の届出歯科医師数は 1,684 人で前回調査に比べ 47 人増加した。増加率は 2.9%である。

人口 10 万対歯科医師数は 56.3 人で前回は 1.5 ポイント上回ったが、全国平均の 72.9 人を 16.6 ポイント下回り、都道府県中第 37 位である。

うち医療施設に従事する歯科医師数は 1,675 人。人口 10 万対では 56.0 人で全国の 71.0 人を下回った。東京都 119.9 人、福岡県 90.4 人、徳島県 89.9 人などが多く、福井県 45.8 人、滋賀県 47.9 人、山形県 49.3 人などが少ない。

図4 歯科医師数・人口10万対歯科医師数の年次推移

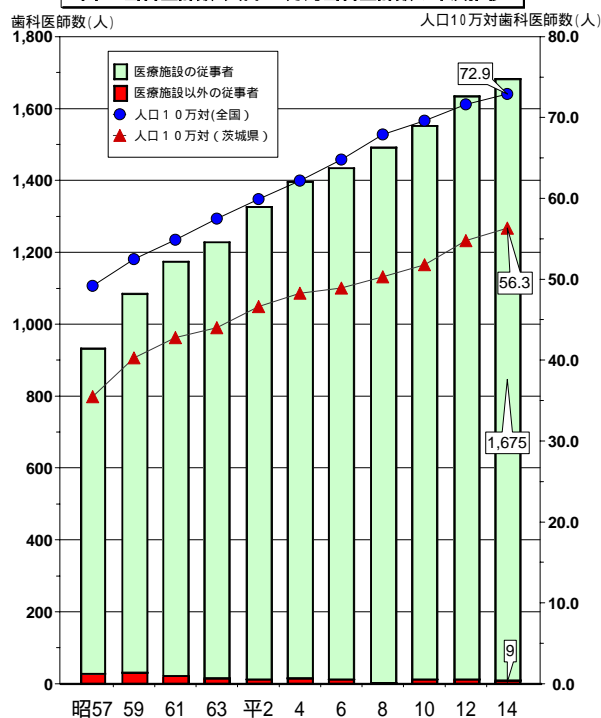
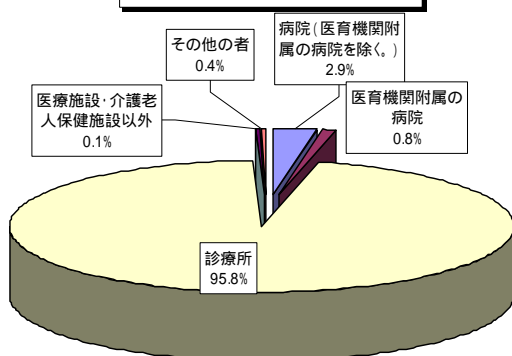


図5 業務の種別歯科医師数の割合



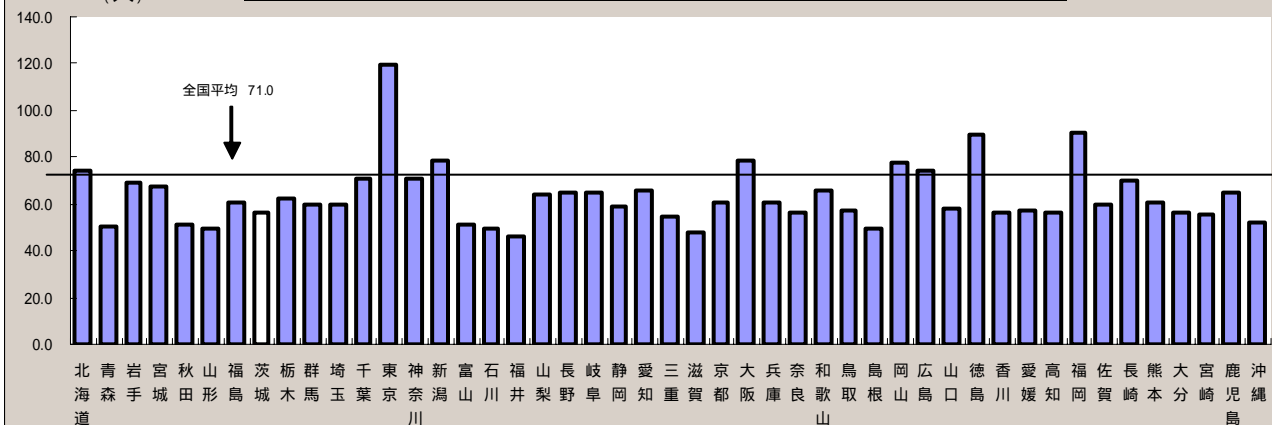
業務の種別では診療所の歯科医師が 1,613 人で最も多く、全体の 95.8%を占めている。

年齢階級別では 45～49 歳が 352 人で最も多く、次に 40～44 歳 343 人となっている。

なお、歯科医師の平均年齢は 48.4 歳である。

人口10万対歯科医師数 (人)

図6 都道府県(従業地)別にみた医療施設に従事する人口10万対歯科医師数



3 薬剤師

本県（従業地）の届出薬剤師数は 5,142 人で前回調査に比べ 120 人増加した。増加率は 2.4% である。

人口 10 万対薬剤師数は 172.0 人で前回は 3.8 ポイント上回った。全国の 180.3 人を 8.3 ポイント下回り、都道府県中第 16 位である。

うち薬局・病院・診療所に従事する薬剤師数は 3,231 人。人口 10 万対では 108.1 人で全国の 121.2 人を下回った。東京都 157.1 人、徳島県 153.8 人、兵庫県 144.5 人などが多く、沖縄県 91.3 人、青森県 91.5 人、福井県 94.6 人などが少なくなっている。

図7 薬剤師数・人口10万対薬剤師数の年次推移

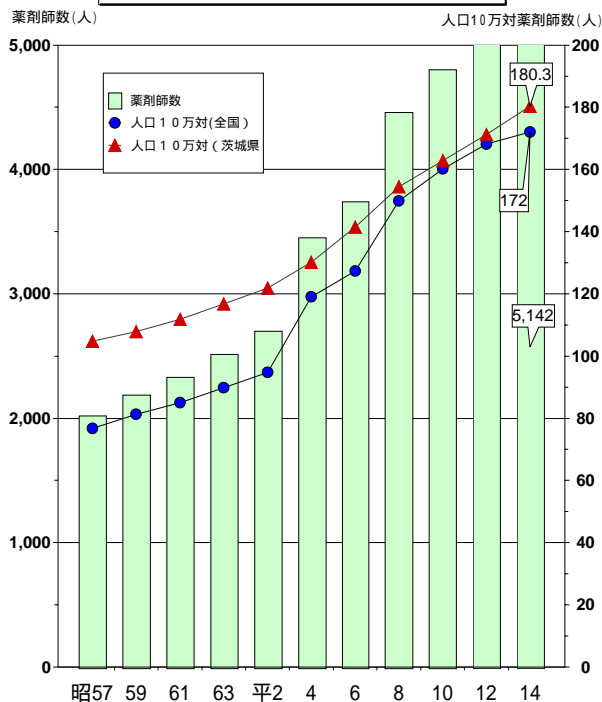
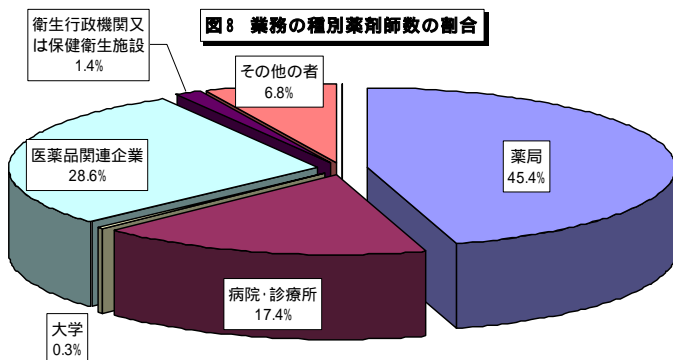


図8 業務の種別薬剤師数の割合



業務の種別では薬局の薬剤師が 2,334 人で最も多く、45.3%を占め、次に医薬品関連企業 1,473 人、病院・診療所 897 人の順である。

年齢階級別では 35～39 歳が 884 人で最も多く、次に 30～34 歳の 862 人となっている。

なお、薬剤師の平均年齢は 41.4 歳である。

図9 都道府県(従業地)別にみた薬局・医療施設に従事する人口10万対薬剤師数

